

## 意見要旨及び対応方針 [第1~4回審議会]

＜全般について＞		
No.	意見要旨	対応方針(考え方)
1	アンケート結果で、 <u>移転したいと思う理由や、不便だと感じていること、いやだという意見</u> を整理して考えていくことが大事ではないか。	今後の参考とし、総合計画をはじめ各種計画に反映していきます。
2	厳しい今後の財政見通しを考えると、総合計画は町として <u>大きな歳出を考えない形で計画を立案</u> する必要があるのではないか。そのようなことを総合計画に盛り込んでいけないか。	<b>表現見直しを検討</b> (今後も厳しい財政運営が続き、さらに行政の効率化を進めていく必要があると考えますので、各項目の表現についても検討します)
3	JR島本駅を契機としてまちを活性化させたいということだが、 <u>阪急水無瀬駅</u> の方は現在過疎化してきている。阪急の課題は置いて、基本構想案の中では、JR島本駅を中心に考えていくことか。	<b>全体的に見直し</b> (JR島本駅と阪急水無瀬駅のバランスに配慮し、町全体の活性化をめざして表現の見直しを行います)
4	今回の計画はJR島本駅の開業が大きな柱だと思うが、「JR島本駅を核として」ということで <u>阪急水無瀬駅</u> は載っていない。阪急の駅の利用者への配慮も願う。「土地利用」の項目では両駅について記載されているが、その他は全て「JR島本駅を核にして」とあるので、他でも配慮が必要ではないか。	

【P1】 1. 策定の背景		
5	⇒1 段落目 第二次計画の「 <u>将来像</u> 」が第三次でも継承されているということがわかるように説明があった方がよい。現行案では、第二次計画の将来像が無くなったのかと思われるのではないか。	<b>追加</b> (第三次計画の将来像について)
6	⇒1 段落目 <u>第三次計画と第四次の関係</u> をはっきりと書いた方がよい。「策定の背景」の冒頭では、第二次と第三次との関係は「第二次総合計画の将来像を継承しつつ、さらなる発展を目指して第三次をつくる」と書いている。第三次と第四次の関係もきっちり書いておいた方がよい。	<b>追加</b> (第三次と第四次の関係について)
7	⇒2 段落目 「わが国は人口減少社会を迎え、少子高齢化が急速に進む中、経済・雇用情勢の悪化や、税収の減少に伴う財政状況の悪化など、地方自治体を取り巻く環境は厳しさを増し、本町においても「まち」の活力低下が懸念されています。」とあるが、今の <u>景気の状態</u> はさらに厳しくなっており、「顕著に表れています」などの表現の方が良いのではないか。	<b>表現見直し</b> (現在の世界的不況を踏まえ、厳しい状況を強調する方向で)
8	⇒2 段落目 今の <u>不況</u> の中で、今までとは違う考え方を持っておかなければ、審議していく内容も薄いものになってしまうのでは。今の社会情勢は、想像する以上の大きな変化の時代を迎えているので、的確に表現した方がよい。	
9	⇒2 段落目 行政を取り巻く課題として、「 <u>環境問題への対応</u> 」とあるが、最近の情勢からすればもう少し強く書いた方がよい。省CO2(二酸化炭素)の都市づくりも言われており、単に環境問題というより、踏み込んだ言い方をしておいた方がよい。	<b>表現見直しを検討</b> (環境問題について)

10	第三次計画では、 <u>住民の自立的な活動や参画</u> という表現があったが今回は抜けている。追加した方が良いのでは。	<b>追加</b> (住民参加について)
11	現在「まちづくり基本条例」の策定を行っており、 <u>住民参加</u> などの項目は入れた方が良いのではないかと。	
12	⇒ <b>最終段落</b> 項目の中に <u>JR島本駅</u> が3回も出てくる。最終段落の「JR島本駅の開業をはじめとする」という部分はいらないのではないかと。	<b>削除</b> (「JR島本駅の開業をはじめとする」を削除)

## 【P1】 2. 総合計画の役割

13	③で「本町において展開される国・大阪府・ブロック別などの広域的な事業推進のための基本的な指針」とあり、内容は第三次計画と同じになっている。前回から、地方分権の制度なども変わっていると思うが、表現はそのままでもよいのか。	<b>表現見直しを検討</b> (地方分権の進展を踏まえ、文言を検討)
----	---	--

## 【P3~11】 第1章 島本町の現況と特性

### <全般>

14	各分野で町の現況を述べているが、もう少し幅広く、 <u>健康・福祉・教育などの現状分析やデータも入れてはどうか</u> 。住民アンケートでもさまざまな分野に関して満足度などを調査しており、そうした分野についても触れておいた方がよい。	<b>データ追加を検討</b> (基本構想、基本計画、別冊など、どの箇所に入れるかを含め、各分野の統計データ等の追加を検討)
15	基本構想ではデータは必要最小限にして、わかりやすく絞り込んだ方が良いのでは。一方で、 <u>基本計画でのデータの記載</u> が必要ではないかということもある。あるいは <u>別冊のデータ集</u> としても良いかも。データをどのように取り扱うかについてはもう少し考えたい。	

### 【P4】 3. 自然的条件

15	社会的潮流で新たに「安全・安心」という項目ができたが、町には <u>活断層</u> が2本走っており、安全・安心を考えるのであれば町としてこの対応をどうしていくのかということで、「自然的条件」に記載しておく必要があるのではないかと。	<b>追加を検討</b> (自然的条件などいずれかの項目に、活断層などの状況の追加を検討)
16	⇒ <b>3段落目</b> <u>植生</u> の記載が、第三次計画では「常緑広葉樹林帯」と表記されていたが、今回は「照葉樹林帯」になっている。	第二期地球温暖化対策実行計画の表現を使用しています。

### 【P5】 (1)人口

17	高齢化についてはある程度記載されているが、その後に「世帯でみると世帯構成の核家族化が進み、減少する傾向にある」ということで、少子高齢化に対する今後の指針などが表記・示唆されていないように思う。高齢化に対する対策も考慮する必要があるが、総合計画としての示唆も盛り込んでおくべきではないかと。	<b>別項目で対応</b> (方向性、具体的な対策などは、あとの項目や基本計画で表現)
----	--	--

## 【P8】(2)産業

18	⇒1段落目 農業の記載で、第三次計画では <u>タケノコ</u> の生産について書いていたが、今回は <u>水稲</u> だけの記載になっている。タケノコについても記載すべきではないか。	<b>追加を検討</b> (タケノコ等について)
19	⇒1段落目 農業は全国的な大きな問題であり、安全や食糧自給率の関係もある。町でそれをどう位置づけるのか、産業の中でひとくくりにして良いのかということもある。 <u>農業生産が町の中でどのような位置づけにあるのか、他の自治体と比較してどうか</u> という部分は、認識として挙げておいた方がよい。	<b>追加を検討</b> (農業の位置付け、他との比較など)
20	⇒最終段落 第三次計画では商店数 216 となっているが、今回は卸・小売業が 178 事業所という表現になっている。	国統計調査(商業統計)の区分を使用しています。
21	人口などは過去からの推移データが出ているが、産業の項目は現状データのみとなっている。特に <u>商業</u> などは中心市街地の衰退や、シャッター商店街なども言われている。 <u>過去からの推移で、伸びているのか縮小しているのか</u> という認識が重要ではないか。また、ある時点からの比較として、全体的に伸びているのかということも入れてはどうか。	<b>追加を検討</b> (産業の推移データ、過去との比較表現など)

## 【P12~14】 1. 社会的潮流

### <全般>

22	各社会的潮流で、 <u>町との関係性を明確にした</u> 方が良いのではないか。潮流の記載で、町のことを言うのか、言わないかは整理した方がよい。例えば、冒頭リード文の「近年の社会的な動向」という部分で、全国、大阪府の動向としてということを入れるなど、町に絞って述べているのではないとしておかなければ、曖昧になる。	
23	社会的な潮流を書いて、 <u>島本町は同じなのか、あるいは違うのか</u> ということを書かなければ、次の項目に繋がっていかないと思うが。	<b>追加</b> (全国・府の潮流と町との関係、町での状況など)
24	<u>町との関係性を表現しなければ、単に書きっぱなし</u> ということになる。町についての記載を追加することはできるか。例えば、全国的あるいは大阪府を見渡した時の <u>社会的潮流が島本町にも当てはまるのか、あるいはそれに対してどう対応するのか</u> という、評価的な事柄を2・3行付け加えることは可能か。	

## 【P12】(1)自然環境重視の時代

25	⇒最終段落 「リサイクル」という表現も使われているが、現在は、 <u>3R</u> や <u>5R</u> など、リサイクルだけでなく、 <u>リデュース</u> とか <u>リユース</u> など幅広いことも必要と言われており、そのような幅広い表現をしてはどうか。	<b>表現見直し</b> (リサイクルについて、3Rなどより幅広い方向で)
26	「自然環境」と「地球環境」についての記載が混ざっている。 <u>自然環境と地球環境の問題を分けて書いてもらいたい</u> 。	<b>表現を整理</b> (自然環境と地球環境)
27	「自然環境を保全する」とあるが、実際の自然環境というのは森林・農地等になる。個人の地権者が守っているという状況の中では難しいこともあるので、そのようなことも今後どうしていくか記載しなければならぬのではないか。	<b>追加を検討</b> (所有者の意向を尊重し、連携して保全活動などを進めることなどの追加を検討)

28	<p>島本町の特性の山や森林の話が、自然という切り口で一括りになっているように思う。森を守るにしても、<u>林業従事者の高齢化や担い手不足の問題</u>など困難な状況もあるということ、現状の認識として入れておいた方がよい。町では天王山森林整備などの取組みも行っている、そのようなことが受け入れられるようにするか、「(3)人口減少と少子高齢化の時代」の項目でも良いが、<u>人口減少や少子高齢化が島本町の貴重な財産である山の保全などにも困難をきたしている</u>ことは、全国的な流れでもあるので入れていただければと思う。</p>	<p><b>表現見直しを検討</b> (担い手などの課題や状況、住民参加などの要素も含め、表現を再検討します)</p>
----	---	---

### 【P13】 (3)人口減少と少子高齢化の時代

29	<p>現在島本町では小学校が4校、中学校が2校ある。少子高齢化の「少子」の部分になるが、どうしていくのかという考え方をある程度示しておいた方がよいのでは。教育の問題として、特に<u>学校のあり方や幼稚園や保育所も含めたあり方</u>を、「(3)人口減少と少子高齢化の時代」の中で述べるのか、検討いただきたい。</p>	<p><b>追加</b> (「教育」に関するキーワードを追加。※詳細は基本方針でも表記しています)</p>
30	<p>この項目では「<u>教育</u>」というキーワードを含める文章を加えた上で、具体的には基本方針の教育の部分で詳しく述べた方がよいのでは。特に、幼稚園や保育所の問題は大きな課題になっていると思う。</p>	

### 【P13】 (5)安全・安心が求められる時代

31	<p>高齢者を狙った詐欺などの事柄も記載されているが、子どもが犯罪の対象になることもあるので、「<u>子どもの安全</u>」についても記載してほしい。子どもを育てていく年代としては、安全・安心の項目に子どもの表現がないことが気になる。</p>	<p><b>追加</b> (子どもの安全について)</p>
32	<p>子どもの安全・安心の問題では、子どもに携帯電話を持たせないという問題もある。「(6)高度情報化の時代」の項目に入るのかもしれないが、マイナスの側面もはっきりと書いておいた方がよいと思う。犯罪の問題などもあるが、<u>携帯電話が子どもに与える影響</u>ということも付け加えておいて方がよいのではないか。</p>	<p><b>追加を検討</b> (「(6)高度情報化の項目」への追加を検討)</p>

### 【P14】 (7)広域化と地方分権の時代

33	<p>「広域化」と「地方分権」は本来的には相反するのではないか。広域化は、分権ではうまくいかないという面があると思う。項目としては非常に重要だと思うが、広域化が良いのか、分権が良いのか、あるいは島本町はどちらでやるつもりなのか、ということが見えてこない感じがする。もう少し的確な捉え方がないのか。また、項目の中では「<u>地方分権</u>」の部分を先に記載した方がよくわかるのではないか。その後で、日常生活や経済活動の広域化という記載をする方がはっきりするのではないか。</p>	<p><b>表現見直しを検討</b> (現状と課題が一緒になっているところもあるので、表現を整理。地方分権と広域化の順序を入れ替え)</p>
----	---	--

## 【P15】 2. 広域計画との関係

34	<p>「(2)近畿圏広域地方計画」は、現在国土交通省を中心として策定中であり、この基本構想ができるころには計画決定されているのではないかと。 「(3)大阪府総合計画」はまだ計画期間中だが、この総合計画を基に、平成20年12月に「<u>将来ビジョン大阪</u>」という計画が策定されている。</p>	<p><b>表現見直しを検討</b>          (新計画の情報を整理のうえ、表現の変更・追加を検討)</p>
----	--	--

## 【P16～18】 第3章 まちづくりの基本的課題

### <全般>

35	<p>JR島本駅について同ページ内に何度も記載してある。確かに、JR島本駅を新しいシンボルとして活用していくことは大事だが、<u>阪急水無瀬駅とのバランスを考慮</u>し、文章的に意味を変えない形で表現が考えられれば検討をお願いしたい。</p>	<p><b>全体的に見直し</b>          (JR島本駅と阪急水無瀬駅のバランスに配慮し、町全体の活性化をめざして表現の見直しを行う)</p>
36	<p>「まちづくりの基本的課題」に<u>阪急水無瀬駅について記載されていない</u>。</p>	
37	<p>第三次計画では、水無瀬川緑地公園の項目があったが、今回はなくなっている。<u>水無瀬川緑地公園の活用</u>は十分でないと思っており、スポーツ団体をはじめ様々な団体があるが、もっと緑地公園を活用するべきではないか。その活用の方向性について総合計画の中で生かしておくべきではないか。</p>	<p><b>追加を検討</b>          (水無瀬川緑地公園の積極的な活用について)</p>
38	<p><u>水無瀬川緑地公園</u>は、町の重点施策として整備した施設であり、今後どのように活用していくかということが入ればと思う。検討いただきたい。</p>	

## 【P16】 2. 自然環境の保全及び環境問題への対応

39	<p>第三次計画では、山間部における森林の文章として「<u>本町の山間部における森林のほとんどが民有林であり、近年、山間部の荒廃が危惧されている</u>」という文章があったが、今回は抜けている。</p>	<p><b>追加・表現整理を検討</b>          (民有林の状況についての追加。他の項目も含め、協働の主体や「関係者」などの表現を整理)</p>
40	<p>第三次では<u>民有林の課題</u>を記載していたが、今回なくなるということで良いのか。また、関係する主体が<u>住民、事業者、行政</u>というだけでなく、他の項目でも「<u>関係者</u>」という表現も使っているので、表現の検討をお願いしたい。</p>	

## 【P17】 4. 時代の変化に対応した定住型のまちづくりの推進

41	<p>まちのPRや、町独自の活性化を図る、産業の開発につながる<u>観光的な部署</u>、例えば<u>観光課</u>というものが島本町にはない。自然環境や歴史遺産に恵まれているが、それらを活用するような方向が持っていない。そうした体制を今後の課題として検討してほしい。島本町の特色を作り出し、将来につないでいく方向も少しは触れておいてほしい。</p>	<p><b>追加を検討</b>          (観光など賑わいづくりについて。基本的課題、基本方針、基本計画などいずれの項目に入れるかも含めて検討)</p>
42	<p><u>観光</u>について基本的課題で述べるのか、後の項目になるのかわからないが、どこかで考えてはどうか。そうしたことで、まちの活力を上げる、まちに誇りにつながるといことは重要だと思う。観光については、ボランティア活動など高齢化社会を迎えた時に、生きがいをもった活動ができるということもあると思う。非常に重要な意見なので検討願いたい。</p>	

43	高層マンションの火災への対応や周辺道路整備などの安全面について。	
44	「幹線道路沿道などの交通利便性の高い立地において、大規模なマンションなどの住宅開発も進んでいます」との記載が、現状に対して合っているか、ということが重要。	基本計画で対応 (詳細な課題や施策などは、基本計画や実施計画などで検討)
45	基本構想では、詳細な面を盛り込むことはできないのでは。構想では、「安全・安心なまちづくりを推進」という表現に留め、重要な課題については基本計画で指摘すればどうか。	

## 【P17】 5. 都市計画の見直し

46	島本町では、空き家が増えているのか。山間部などでもあるのではないか。そのような問題についての検討が必要では。	追加を検討 (空き家の状況や、既存市街地の活性化などについて)
47	計画の見直しというが、現状で道路整備などさまざまな課題への対応や、環境整備ができていないのではないか。それらを整理した上での話ではないか。	表現見直しを検討 (現状の課題や問題点を踏まえた表現を検討。具体的な事柄については基本計画で対応)
48	都市計画については様々な課題があり、社会経済情勢の変化などを踏まえた上での見直しが必要だと思う。もう少し現状の問題点を踏まえた書き方と、一方で将来像を見据えながら、ということでもう少し考えてはどうか。	表現見直しを検討 (数年前に見直しを行い、存続という結果となっているので、文章からはずしていますが、今後の都市整備等も踏まえ、表現を検討)
50	第三次計画では都市計画道路の見直しについての記載が入っていたが、今回は抜けている。	

## 【P19~24】 第1章 まちの将来目標

### 【P19】 1. 基本理念と将来像

51	「豊かな自然や水無瀬川の清らかな流れなどの自然環境とともに歴史文化に恵まれた町」とあるが、水無瀬川の中・下流では草も多く生え、たい積した土砂もある。防災対策も含めた環境づくりをお願いしたい。	基本計画で対応 (具体的な内容は、基本計画の治水項目などで対応)
----	---	-------------------------------------

### 【P21】 2. 将来人口

52	将来人口で、3,000 人を増やすことによって、町の歳入にどの程度寄与するのか。	税収面でも人口の維持、増加は重要と考えます。
53	人口増加を達成することによって、どの程度財政状況の数字に影響するのか	詳細な数字はお示しできないが、ある程度の効果はあると考えます。
54	人口増加について、例えば1世帯平均2.9人とすると、約1,000戸の住宅を増やさなければならない。具体的にどこをどうするかということがはっきりして、この目標が生きてくると思うが。	今後の開発等も考慮に入れ、人口増加への対応も想定して目標として設定しています。

55	<p>人口目標については、住民アンケート調査では現状維持が50.7%という結果だった。32,000人の目標設定とするのであればもう少し<b>積極的な理由付け</b>が必要ではないか。<b>国立社会保障・人口問題研究所</b>からも人口予測が出ている。今後、JR・阪急沿線では新駅設置や人口増のための都市間競争が起こることも予想され、人口問題研究所の予測の精査により、どのような施策が期待されるのかということも見えてくるのではないか。</p>	<p>人口問題研究所の人口予測についても精査しますが、開発の可能性など地域の実情についての考慮も必要と考えます。</p>
56	<p>積極的な理由付けの参考として、<b>32,000人の人口規模にするための投資の対費用効果を検証</b>してみてもどうか(インフラ整備の想定費用、各種の社会保障費の推移、税収予測など)。人口規模の目標については、相当な努力が必要ではないか。</p>	<p>財政状況を踏まえつつ、まちづくりについて検討を進めていく必要があると考えます。</p>
57	<p><b>年齢3区分の人口割合についても目標の設定</b>が必要ではないか。できれば5歳刻みの人口構成もわかればと思う。特に、児童数の予測と教育施設のバランスについては、基本計画などでも課題になってくるのではないか。また、行財政プランと整合した各種施策の目標も人口構成をある程度設定する必要があると思うので、基本構想に記載するかは別にして検討してほしい。</p>	<p>年齢別目標の設定は難しいと思いますが、各種計画の策定時などに検討します。</p>
58	<p>若年層の人口増加対策としては、団地再生の研究報告でも<b>子育て支援の取組み</b>が重要であるとの結果が出ている。島本町でも大規模団地等の入居促進の参考になるのではないか。「つどいの広場」事業が有効という結果も出ている。</p>	<p><b>基本計画で対応</b> (子育て支援など具体的な施策については、基本計画で検討)</p>
59	<p>日本の人口そのものが減少傾向にあり、税収増を図るためには人口を増やしていく必要がある。特に若い年代層をどうして取り込んでいくかが課題。各自治体でも人口増に躍起になっており、人口が減る中で自治体間の競争をやらざるを得ない状況で、島本の良さを売り出し、どうまちづくりを進めていくかということが大きな課題になる。</p>	<p><b>基本計画で対応</b> (人口増加の具体的な施策については、基本計画で検討)</p>
60	<p>最近では若山台でも空き家が増えてきていると聞く。アンケート結果で買い物が不便という意見もあり、交通網が不便なことから買い物も他市に行くという状況である。若山台ではスーパーの閉店なども影響して空き家になっていると思われ、都市計画として<b>交通条件なども今後考えていかなければならない</b>と思う。JRを中心とした南北の交通は陸橋しか無く、防災面からも不安であるということで、特に山崎方面は不安を感じている。住んでみて不安を感じて引っ越しされる方もいるのではないか。</p>	<p><b>基本計画で対応</b> (詳細な課題や施策については、基本計画で検討)</p>
61	<p><b>人口が町内でどう配置され、どう分布するか</b>ということが気になる。町内に過疎と過密が両方あるということで、都市の中のあちこちで人口が空洞化して空き家が生じるという問題がある。この小さな町でも現代の都市が抱える問題はほとんどあるのではないかという感じもする。基本構想の課題の部分で述べておいた方がよいのではないかという気がする。そのためには、人口は町内のどこに分布するのかということも必要になると思う。また、「土地利用」の項目でも、土地利用方針で、もう少し詳しく人口の配分についての表現もほしい。</p>	<p><b>表現見直しを検討</b> (人口の配置や分布の表現などについて、土地利用との整合を図れるよう検討します)</p>

62	将来人口の設定については、もう少し内容を検討した上で、審議会で了解を得た方が良い。人口が少々減っても構わないという考え方もあり、高齢化社会を認めて徹底的に高齢化に対応したまちづくりを進めようという考え方、もっと若い人を連れてくるという考え方もあると思う。より細かい検討を行い、了解を得られるような方向でまとめていく必要があると思う。どちらにしても、単純に目標32,000人で済むということではないと思う。	<p><b>検討中</b>  (人口増加の理由付けについて、表現の追加などを検討)</p>
63	積極的な人口増の理由付けについて、「市街地の活性化の促進を視野に入れた」とあるが、さらに「 <u>町内の空き地も積極的に利用して</u> 」というような表現も追加してはどうか。	
64	将来人口の目標としては、財政状況への影響も考えると、 <u>どの程度の人口が必要になるのか</u> ということも大事になる。若山台での空き家の増加の他にも、尺代でも若者が流出して限界集落化しつつあり、尺代の地域の開発は自治会あげての要望となっている。そのようなことも含めてプランをつくり、その結果として32,000人ということであれば良いが、ただ32,000人ぐらいになるであろうということでは寂しい。町の財政や活性化を含めてこの項目はつくるべきだと思う。	
65	財政的に32,000人にしなければならないのか、あるいは人口を30,000人以上にするということで目標を32,000人にするのか、そうした点を住民に訴えるようにしなければならないと思う。ただ32,000人にしなければならないということでは、表現が弱いのではないかと思う。例えば28,500人でも、財政的に豊かであれば別に問題はないと思う。 <u>なぜ32,000人にしなければならないのかという理由付けが必要</u> だと思う。	
66	数値の分析も含めてやっていかなければならない。 <u>人口を増やす理由は何なのか、どのような施策でどう増やすのか</u> という説明も必要ではないか。32,000人の数値自体がいけないとは言わないが、32,000人にするのであれば、それはなぜか、何をするのか、ということ計画・目標として入れることが必要と思う。	
67	今は大変不景気で、町営住宅の跡地についても現実に売却できるかどうか疑問。数字を入れるのであれば、 <u>対策を具体的に</u> 書かなければ、ただ単に32,000人という数字だけでは、数字倒れになってしまうのではと危惧している。	

## 【P25～28】 第2章 まちづくりの基本方針

### 【P25】 1. 人間尊重

68	「 <u>基本的な人権尊重の立場から、差別解消やあらゆる暴力の根絶に向けた取組みを進める</u> 」とあるが、こうした内容は総合計画の中で表記すべき内容ではないと思う。第三次計画の表現の方が適切だと思われ、「人権啓発と人権教育などの推進を図ります」など、教育に関する表現も明記されている。現行計画の文章の方が望ましい。	<p><b>表現見直し</b>  (現行計画の文章を踏まえた表現に変更)</p>
----	---	--

**【P25】 2. 自然環境の保全と都市環境の整備**

69	第三次計画の中では「 <u>島本水の文化園構想</u> 」が位置づけられている。住民アンケートの中でも、自然を守らなければならないということが指摘されているので、水の文化園構想は継続すべき内容だと考える。	<b>追加を検討</b> (水の文化園構想について)
70	<u>水無瀬川</u> はたい積した土砂が多く、周辺の住民も不安視されていることから、河川の防災面についてもう少し書いてほしい。	<b>追加を検討</b> (同項目内の防災の記述内に、治水等についての表現を追加)
71	防災の記述は、現状では主に地震について書かれているが、災害は地震だけでなく水害や火災などもあるので、こちらでまとめた方が良くと思う。	
72	副題で、「 <u>歴史と文化を大切に自然環境を生かした個性のあるまちづくり</u> 」となっているが、この項目の内容として「歴史や文化」が出ていない。「 <u>歴史・文化</u> 」というキーワードを文章に入れるべきではないか。	<b>追加を検討</b> (「歴史・文化」についての表現を追加)

**【P26】 3. 自立・創造・協働**

73	現在、「 <u>まちづくり基本条例</u> 」を審議中であり、条例との関連の記述をお願いしたい。	<b>追加を検討</b> (まちづくり基本条例を踏まえた表現の追加を検討)
----	--	--

**【P27】 4. まちの基盤整備**

74	役場から阪急水無瀬駅など一部では一定の <u>道路整備</u> がされているが、山崎や西国街道については道も狭い上、車も多く問題になっている。高齢社会が進むと、車を手放したり高齢者だけの世帯も増えてくることから、輸送という面でどう考えているのか見えてこない。将来にわたって、島本町の <u>交通</u> に対する取組みの姿勢が触れられていない。	<b>基本計画で対応</b> (交通などの具体的な課題や施策は、基本計画で検討)
75	最終段落でユニバーサルデザインについても出てくるが、最近では多くの都市で、「 <u>歩いて暮らせるまち</u> 」というキャッチフレーズでいろいろな施策を講じている。	<b>表現見直しを検討</b> (歩行者重視などの方向性について)
76	<u>公園整備</u> について、現在、少子高齢化で子どもが公園で遊んでいる姿はあまり見受けられない。町内には使われていない公園が至る所にあり、中には遊具も錆びて草も生えるなど、不衛生な状態の公園が目につく。	<b>基本計画で対応</b> (公園リニューアル化などの詳細は基本計画で検討)

**【P27】 5. 保健・医療・福祉**

77	島本町には個人開業医を含めかなりの医師がいるが、 <u>医師間のネットワークづくり</u> などで、住民の医療に関する安全を確保する必要があると思う。そのような表記はやはり残していく方が妥当だと思う。	<b>表現見直しを検討</b> (連携などの表現)
----	--	------------------------------

**【P28】 7. 構想実現に向けて**

78	内容としてはこれでよいが、 <u>わかりづらい文章構成</u> になっている(特に2段落目)。文章表現としては、もう一度練る必要がある。	<b>文章表現を再検討</b> (文章の構成などをわかりやすく見直す)
----	--	--